

ハザードマップの活用

本ハザードマップを活用し、お住まいの地域周辺の水害リスクや備えておくべきことなどを確認し、いざというときに適切な避難行動をとれるようにしましょう。

蕨市に影響する河川



上流水位の変化は、河川状況を把握するための重要な参考情報です。

この地図は、「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R3.JR.427」を得て作成しました。

避難行動の判断基準となる河川水位

水位観測所	氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位	観測所QRコード
荒川(熊谷)	3.50m	5.00m	5.50m	
荒川(治水橋)	7.50m	12.20m	12.70m	
荒川(岩淵水門上)	4.10m	6.50m	7.70m	

洪水時における防災情報

防災行政無線
災害時、市から防災情報が放送されます。また、24時間以内に放送された内容を電話で確認できます。
048-444-1320

緊急速報メール
「避難指示」などの避難情報や洪水情報などが配信されます。

Yahoo!防災速報アプリ
緊急地震速報や気象警報、豪雨予報、避難情報などをお知らせするアプリです。

ケーブルテレビ「ウインクチャンネル」(地デジ11ch) テレビ埼玉(地デジ3ch) データ放送 NHK(地デジ1ch) データ放送
リモコンのdボタンを押して、災害に関する防災情報を確認できます。

災害用伝言ダイヤル「171」
通信、洪水などの災害の発生により、被災地への連絡が増加し、電話が繋がりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言サービス。

災害用伝言ダイヤル(171)体験利用提供日
毎月1日及び15日00:00~24:00 防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)
正月三が日(1月1日00:00~1月3日24:00) 防災とボランティア週間(1月15日9:00~1月21日17:00)

災害への備え

・行政の支援には限りがあります。被害を最小限にするために、一人ひとりが、また、家族や地域が協力して、日頃から災害に備えておきましょう。

安全性をチェックしましょう
チェックが付いた項目は、補強や修理・掃除などを行って災害に備えましょう。

屋根・雨どい
アンテナが傾いている
瓦にひび割れ・ずれがある
雨どいが劣化している

ベランダ
植木鉢や物干し竿など、落下しやすいものがある

外壁
外壁にひび割れ・痛みがある
表面の塗装が劣化している

窓
窓枠の建て付けが悪くなっている
雨戸が劣化している
ガラスの飛散防止対策をされていない

家屋の耐震診断を行うことも大切です
消火器や水バケツも備えましょう

ブロック塀
ひび割れ・欠けがある
傾きやぐらつきがある
破損して内部の鉄筋が見えている

その他
プロパンガスの固定されていない
(店などの)看板のぐらつきがある
倒れそうな植木や石垣がある
道路側溝に堆積物がある

室内
固定されていない家具がある
家具の上に落とすと危険な物がある
玄関、廊下に避難の妨げになる物がある
ストーブに自動消火機能がついていない
壁面に倒れるような危険な家具がある
カーテンの防火処理がされていない

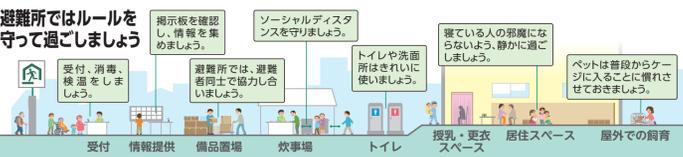
数十年前に一般の大雨
氾濫が発生

居室にはスリットと、扉、懐中電灯を備えておきましょう。(懐中電灯は携帯電話のライトでも代用することができます)

洪水の要因と注意点など

- 洪水の要因**
- 台風:うずをまくように反時計回りに風が吹いており、特に台風の東側には強風と大雨に注意が必要です。
 - 線状降水帯:次々と発生する発達した雨雲が列をなした積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される。線状に伸び強い降水を伴う雨域です。
 - 局地的大雨:急に強く降り、数十分の短時間に狭い範囲に数十mm程度の雨量をもたらす雨です。

- 避難の注意点(①~⑧は以下のイラストで確認できます。)**
- 避難する前に確認しましょう**
・ガスの元栓を閉め、電気のスイッチを切り、ブレーカーを落としましょう。
・火災の場合、落ち着いたら初期消火を行います。
・家族や親族、知人と連絡を取り、避難状況の確認をしましょう。
 - 複数人で避難しましょう**
・単独で行動せず、みんなで協力して早めに避難しましょう。
・雨中での避難は、通常より多く時間を要します。
 - 車での避難は控えましょう**
・交通渋滞で動けなくなったり、緊急車両の通行の妨げになるおそれがあります。
・浸水してドアが開かなくなったり、故障したりするおそれがあります。
 - 川には絶対近づかない!!**
・大雨、洪水時には、短時間で河川の水位が急上昇するため、気づいてからでは逃げられません。
・大変危険なので、絶対に近づかないでください。
 - 事前に避難方法の検討を**
・安全な地域の親戚や友人宅への避難。
・近くの避難所への避難。
・頑丈な建物などの高いところへの垂直避難。
 - 屋内で安全を確保しましょう**
・浸水が始まってから外へ移動するのは大変危険です。
・浸水がすでに始まっている場合は、今いる建物内で垂直避難しましょう。
 - 地下はとても危険!!**
・短時間の大雨で、地下に水が流れ込んだ場合、少しの浸水でも水圧で扉が開かなくなったり、階段を上がれなくなったりします。
・地下からは、すぐに避難しましょう。
 - 避難時は足元注意!**
・浸水している場所を歩くときは、棒などでマンホールや側溝などをよく確認し、注意して避難しましょう。水の深さが膝を超える歩行が難しくなります。
大人……水位50cm以上は危険
子ども……水位20cm以上は危険



マイ・タイムライン&避難スイッチ

自分が水害時にとるべき行動をあらかじめ決めておきましょう。

マイ・タイムラインは台風の接近などによって河川の水位が上昇するときに、自分が「いつ」、[何を]を整理し、いざというときにあわてず避難するための個人や家庭ごとの防災計画です。この洪水ハザードマップを活用しながら、家族で話し合い、マイ・タイムラインを作成してみましょう。

マイ・タイムラインとは?
居住場所や家族構成などによって、避難の方法やタイミングは様々です。「こんなことが起きたら避難しよう」、「こういふ情報を入力したら逃げよう」といった、自主的に避難を始めるための判断をするきっかけ「避難スイッチ」を事前に決めておきましょう。

警戒レベル4までに必ず避難!

命の危険 直ちに安全確保!
すでに災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとる。

レベル5 緊急安全確保 大雨特別警報 氾濫発生情報

レベル4 氾濫危険情報 避難指示が発令される可能性あり

レベル3 大雨警報 洪水警報 高齢者等避難が発令される可能性あり

レベル2 大雨注意報 洪水注意報

レベル1 早期注意情報

住民がとるべき行動

- 災害への心構えを高める
 - 気象情報などの確認を行う。
 - 自宅の風雨対策を行う。(土のうや板などによる浸水・風雨対策、側溝・排水溝などの清掃)
- 自らの避難行動を確認
 - テレビ、ラジオ、インターネットなどによる気象情報や計画運休などの確認を行う。
 - ハザードマップなどで自分や家族の避難行動の確認を行う。
 - 親戚や知人の自宅の場所や連絡先、避難場所までの経路の確認を行う。
 - 水や食料、防災具、薬やミルクなどの非常用持ち出し品の準備を行う。
 - 防災行政無線やホームページなどで自主避難者の避難場所開設の確認を行う。
- 危険な場所から要配慮者は避難
 - 避難に時間がかかる高齢者や障害のある方は避難を開始する。
 - 高齢者等以外の人も必要に応じ、避難の準備や自主的な避難を開始する。
 - 市のホームページやメール配信などで避難情報を確認する。
 - テレビやインターネットなどで洪水予報を確認する。
- 危険な場所から全員避難
 - 安全な場所への避難を開始する。
 - 台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。
 - 自宅内で避難する場合は、浸水が想定されない場所での安全を確保する。

- 洪水の種類**
- 外水氾濫**
河川の堤防から水があふれる、または堤防が決壊し、家屋などが浸水すること。
 - 内水氾濫**
集中豪雨により、下水道などの処理能力を上回り、雨水が地表に溜まること。

「浸水の深さと継続時間に関する避難行動」 以下のフローを参考に適切な行動をとりましょう。

自宅の周辺の最大浸水深をマップから確認しましょう。

浸水深の目安

- 鉄筋コンクリート建て
 - 5.0m以上
 - 5.0m
 - 3.0~5.0m未満
 - 3.0m
 - 2.0~3.0m未満
 - 2.0m
 - 1.0~2.0m未満
 - 1.0m
 - 0.5~1.0m未満
 - 0.5m
 - 0.5m未満
- 木造建て
 - 3.0m
 - 2.0m
 - 1.0m
 - 0.5m

避難情報を確認し、早期に避難行動を行いましょう

- 浸水深3.0m以上**
 - 住居が2階の場合は、避難が遅れると危険な状況になるため、避難情報に加え、水位情報にも注意し、事前に避難所などの安全な場所に避難する!!
 - 堅牢で高い建物(鉄筋コンクリート)に住んでいる住民でも、水が速くのに時間がかかる場合があるため、避難所などの安全な場所に避難することを検討する。
- 浸水深0.5~3.0m未満**
 - 住居が1階の場合は、避難が遅れると危険な状況になるため、避難情報に加え、水位情報にも注意し、必ず避難所などの安全な場所に避難する!!
 - 住居が2階以上の場合は、浸水が始まってからの避難は危険なため、避難が遅れたら、無理をせず、上の階へ退避する!!
- 浸水深0.5m未満**
 - 避難が遅れた場合は、上の階へ退避する!!

荒川が氾濫した場合、市内のほとんどの地域で、浸水が1日以上継続する想定となっているため、各家庭で食料や水などを多めに備蓄するようにしましょう。また、マップに掲載されている河川が自宅の周囲にある場合、浸水の深さにかかわらず、事前に避難所などの安全な場所に避難しましょう。



蕨市 洪水ハザードマップ (令和4年3月改定)

蕨市洪水ハザードマップは、荒川などの河川が大雨や集中豪雨によって氾濫したときに予測される浸水範囲とその程度、避難所などの浸水状況、洪水予報の伝達方法等を示したものです。

右のQRコードから、このハザードマップの説明動画を視聴できます。マップ裏面に掲載のマイ・タイムラインの作成などに活用ください。 ※リンク先「蕨市動画アーカイブ」下部の「防災」よりご覧ください。

This flood hazard map shows the possible inundation of districts in Warabi city in the case that the Arakawa River and the others became flooded.

洪水災害地图是通过模拟荒川等泛滥时的预计浸水情况而绘制出的。

マップについてのお問い合わせ先
蕨市安全安心推進課
〒335-8501 蕨市中央5-14-15
電話 048 (433) 7755
FAX 048 (433) 7491
メール jit@city.warabi.saitama.jp

家族の連絡先

氏名	電話(勤務先・学校)	住所	メモ
			常備薬 居住症など

※常備薬について
日常的に処方薬が必要な方は、災害時に手持ちの処方薬を切らさないよう、1週間程度のゆとりをもって受診しましょう。

非常用持ち出し品

非常用持ち出し品・備蓄品の準備をしましょう。

非常用持ち出し品リストを利用して準備をしましょう。
ヘッドライト・懐中電灯 携帯電話 運動靴
ロープ 家族の連絡先 洪水ハザードマップ・地図

非常用持ち出し袋

- 雨具
- タオル
- マスク
- 通帳・印鑑
- 救急セット
- 携帯トイレ
- 携帯ラジオ
- 衣類・下着
- 軍手(滑り止め付き)
- 水(必要最低限の分量)
- 食料(必要最低限の分量)
- 感染対策グッズ
- 現金(公衆電話用)小銭も
- 健康保険証のコピー
- 鍵(家、自動車などのスペアキー)
- 身分証明書のコピー(免許証など)
- 常備薬

ローリングストックとは
一般的に、最低3日分(できれば1週間分)、備蓄することが推奨されていますが、1日が多い4日分12食を備蓄した上で、毎月1食分を食べてその分を補充する「ローリングストック」もおすすめです。この方法では、最初に用意した非常食が1年で全て入れ替わることになります。そのため、消費期限が1年程度のレトルト食品も備蓄品として保存でき、特別な非常食を購入する必要がなくなります。また、好みやアレルギーなどを考慮しながら商品を選ぶため、食事が偏りがちな災害時の健康管理やストレス軽減にもつながります。

すでに災害が発生しているもおかしくない状況
テレビやインターネットなどで気象情報を確認。
外に出ず、自宅内の安全な場所へ退避。

災害が発生する前に
記入例を参考に、避難時の行動を記入してみましょう。家族構成やペットの有無などによって、様々なマイ・タイムラインができていきます。